

Title	外国語学習における媒介語の重要性
Author(s)	林田, 雅至
Citation	国際語としてのロシア語 : 国際統一基準による言語能力レベル評価システム構築の現状と将来的課題. 2019, p. 61-71
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85111
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

外国語学習における媒介語の重要性

林田 雅至

(大阪大学 CO デザインセンター「社会イノベーション部門」,
リスボン科学アカデミー会員 (文系部門))

1. 健康管理通訳人材の育成

ISO 健康管理通訳の規格化

ISO 健康管理通訳の規格化は 2019 年度に発行される見込みである。従来の「医療通訳」にいったん「健康管理」が加えられ、その後、「医療」という文言は削除された。本来公共サービスを前提とする規格化において、その内容がタイトルに明確化されたと言える。この場合 Health Care の含意は Global Public Health Care となる。つまり、意識すれば、地球市民の健康(衛生)管理である。

Medical Linguistics Innovation

外国語学習は学習言語・文化への適応(同化)・統合するものと歴史的に位置付けられる。現在の Global English や Global Chinese も同様である。ISO「健康管理通訳 (Health Care Interpreting)」の規格化に伴い林田は Medical Linguistics Innovation を提唱している。外国語教育・学習を相対化し、媒介語＝学習者母語・文化の重要性を強調し、Contextual Sensitivity に基づく「双方向性運用能力 (interactive competence)」の涵養に力点を置いている。

抽象概念の理解の不可欠性

この難関の課題をいかに克服するか「健康管理通訳」養成のポイントがある。

まず CEFR・B2 以上の能力が求められる理由は、抽象概念の理解の不可欠性にある。それは何を意味するかと言えば、invisible な内容(患者・家族などの感情的な微妙なニュアンス、あるいは医療従事者の治療上のデリケートな説明)を学習言語で把握できるということで、欧州言語共通参照枠基準の B1 (visible で具体的な内容理解)からすれば、ハードルは格段に上がっている。

母語と学習外国語の橋渡し作業(1)

学習者母語による母語・文化の抽象的概念の理解は暗黙の了解ではある。けれども、一般的に SNS などの急速な普及で日本人の母語＝日本語の傾聴力、理解力が、非常に低下し、危機的な状況にあると言ってよい。実はそれは世界的な現象でもある。

医療通訳者、否、健康管理通訳者になろうという志の高い人にそのような懸念を抱く必要はないと思われるが、通訳学習において、まず母語による傾聴理解力を確認し、鍛える必要がある。その上で、その内容を外国語・文化に通訳・翻訳し、「橋渡し」する。これが第一義的に求められる。

母語と学習外国語の橋渡し作業(2)

具体的に言えば、学習外国語から日本語への通訳・翻訳する能力と日本語から学習外国語への通訳・翻訳する能力をバランスよく、正確に身に付けることが求められる。

「橋渡し」は、学習者自身の自助努力にかかってくるとともに、そこに本人の両言語における **Contextual Sensitivity** (文脈を汲み取る感受性) の良し悪しが大いに関わってくる。直感力とも言えるし、勘の良さとも言える。努力も必要であるが、両言語における言語的センスが問われることになる。「口は楽器」であり、**Oral Athlete** と言えそうである。われわれが、**interactive competence** を問う「適正テスト」を実施する根拠はここにある：

SDG s 「適正テスト」第2回(2019年2月16日)：

<http://www.cscd.osaka-u.ac.jp/co/2018/000521.php>

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2019/02/8032>

http://kansai-sdgs-platform.jp/cat_event/914/

2. グローバル外国語教育における双方向運用能力 (interactive competence) の不可欠性

「健康管理通訳」に求められるもの(1)

これまで、第三者として寄り添い支援を実践する「健康管理通訳」を現代の典型的な外国語教育のあるべき一つの姿として論じたが、その行為は、所謂「通訳」で言われる「足しても引いても」駄目であるという原則論は、「健康管理通訳」には通用しない。外国人患者の気持ちを斟酌し、また日本人医療者の説明を噛み砕いて、外国人の母語文化的背景などを考慮し、「言い換える」必要がある。

「健康管理通訳」に求められるもの(2)

この「言い換える」ことのヒントは、民話研究概念の「移し替える (transfer)」にある。例えば、普遍的な概念で「小さい者が大きい者をやっつける」などという民話は世界中にある。御伽草子(17世紀中葉～18世紀前半)に見える、一寸法師、桃太郎、浦島太郎、物ぐさ太郎、酒顛(呑)童子などもそうである。応仁の乱の頃圧政に苦しむ庶民がそうした民話を通して溜飲を下げたとされる。

アフリカの素早く走るウサギや、ブラジルのサッシペレレ (Saci-pererê) という黒人片足少年、イベリア半島の世知に長けた女性セレスティーナ (Celestina) も同様に既成概念を打ち破る力を秘めている。概念は同一でも、多言語・多文化の中で、多様な変容を見せるのである。

3. 附録：外国語教育概論など

2,000 時間を超える外国語学習時間

従来「双方向外国語運用能力」は所謂「バイリンガル話者」でなければ、無理ではないかと思われてきた。しかし、CEFR による能力(熟達度)別レベルが設定され、6段階の「中上級」にあたる B2 以上になれば **interactive** で **deductive** (演繹的、応用の効く) なレベルまで達し、**Contextual Sensitivity** (文脈を汲み取る感性) に拠って、しかるべき訓練を重ねて「双

方向外国語運用能力」は担保される。因みに、日本の大学設置審基準の「義務的」学習時間で、予・復習を含む約 2,000 時間（4 年間）を超える実践的な「外国語学習」によって、学習者母数の 5% ほどが「双方向外国語運用能力」に達するとされる。

下記表において、ロシア旧東欧圏東洋学部日本語科の例を示し、日本の学習時間と比較する意味で、対照させたが、個別に訊いてみると、自習時間はもっとやっていると言われた。ここでは、言語習得の基準参照値として 6,750 時間としているが、これは具体的に何を意味するかと言えば、関西空港に到着した留学生が、飛行機のタラップを降りたところから、流暢な日本語発話がなされ、書き言葉の漢字知識も相当学習済みであるという状態である。現代日本語・文化事情に関して、半年ほど予備教育を経て、大学院修士課程へ進学するイメージである。因みに、日本で中高 6 年間でコミュニケーション能力が乏しいと批判され、一気に成績評価も伴うキッズイングリッシュの拙速な導入に至っているが、ここに示した中等教育課程(英語)の時間数は最も学習時間が費やされる所謂進学校の場合を参考としているが、一般的には、1,500~1,600 時間未満である。上記の通り 2,000 時間以下であり、数字の上で、発話にまで至るとは考えにくいのである。母語形成獲得期が 11~12 歳であり、それまでに、英語教育の導入で、二言語学習(習得)を強いるのは、かなりの無理があると思われる。二言語が不十分に習得される(最悪の場合はダブルリミテッド[二言語制約])懸念があることを指摘しておきたい。急がずとも、18 歳からでも外国語学習時間をきちんと担保すれば、必ず身に付くのである。

表まとめ: 数量根拠に基づく「外国語学習」を考える

	授業時間	自習時間(大学設置審基準など)	修了単位要件総学習時間数	留学による学習4,800時間加算(1日16時間言語シャワー×300日)
日本の外国語学部系(4年間): 1コマ≒2h 上記実態: 1コマ=1.5h	900 675(7.5s × 4y × 15回)	1,800 1,350(授業時間数:2倍)	2,700 2,025	7,500 6,825
ロシア旧東欧圏東洋学部日本語科(5年間)	2,250 (20s × 5y × 15回)	4,500(授業時間数:2倍)	6,750(言語習得基準参照値)	留学なし
欧州CEFR 言語検定試験(上級) ALTE - <i>The Association of Language Testers of Europe</i> (現在27言語)	900	1,800	2,700	7,500 CEFR: <i>Common European Framework of Reference for Languages</i> (ヨーロッパ言語共通参照枠)
ドイツへの移民に課される「社会的統合」(言語学習)CEFR中級	600	1,200	1,800	6,600(みなし留学) IATE: https://iate.europa.eu/home (European Union Terminology: 欧州法言語翻訳サイト:26言語)
小学校~大学までの英語学習	736.4	1472.8	2,209.2	7,009.2
中等教育課程(英語)	628.4	1,256.8	1,885.2	6,685.2
日本の大学英文科(4年間)	900 675	1,800 1,350	2,700 2,025	9,385.2(+6,685.2) 8,710.2(+6,685.2)

4. 最後に

シンポジウムの翌2月8日 G20 学内語学選抜で「適正テスト」(日英, 英日版: 総点評価基準は GPA に準拠, 双方向性検証得点差は日英訳得点と英日訳得点の差)を実施したが, バイリンガル受検者でも, AA (左は総点 80 点以上; 右得点差 A は 2.5 点以上 5.0 点未満)になり, SS (総点 S は 90 点以上, 得点差 2.5 点未満), SA という「最高ランク」には入らず, 一人は, 留学経験がないにもかかわらず, 通常の中高・英語教育と, 今年度 *interactive competence* を涵養する授業受講で, そのバイリンガル話者と総点も得点差も遜色なしという結果となり, 一方, この学生と言語学習歴が変わらず, 所謂外国語検定試験は高得点同ランクであるのに, 今回 BD (総点 B は 70 点以上 79 点以下, 得点差 D は 10 点以上) 評価になった. ただ, こうした結果を見て, 「適正テスト」は, 既成の外国語検定試験で測れない実質的な「言語習得履歴とその運用能力」を知る手立てとして有効な手段であると自信を深めたのである.

今後日本で人口の減少する中, 一層の多言語・多文化 (モザイク) 化を考え, ベトナム語, ネパール語など東南アジア諸言語, あるいはロシア語の「適正テスト」の必要性を強く実感したのである.

IELTS の バンドスコア	CEFR	能力レベル別に「何ができるか」を示した 熟達度一覧	TOEFL IBT ¹	英検 ²
8.5 - 9.0	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。	C2レベルは 判定不能	—
8.0 7.0 - 7.5	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。	110 - 120	1 級
6.5 5.5 - 6.0	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。	87 - 109	準 1 級
5.0 4.0 - 4.5	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。	57 - 86	2 級
3.0	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。	40 - 56	準 2 級
2.0	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができる。住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。	データ なし	3 級 4 級

注記：以下の注を参照のこと。

上記の表は、IELTS、TOEFL、英検の試験結果が「ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR)」のどのレベルに相当するかについて、IELTS の運営機関 (CESOL, British Council, IDP Australia) と TOEFL の開発者である ETS、公益財団法人 日本英語検定協会 がそれぞれ独自に実施した 3 種類の調査結果をまとめたものです。IELTS のバンドスコアがこの程度なら、TOEFL や英検ではこの点数になるというように、3 つの試験結果を換算するための表ではありませんのでご注意ください。試験のスコアを全般的に理解したり、CEFR との対比で試験スコアの意味を把握したりする際の参考としてください。

¹ 出所： ETS http://www.ets.org/Media/research/pdf/CEF_Mapping_Study_Interim_Report.pdf

² 出所： 日本英語検定協会 <http://www.eiken.or.jp/forteachers/data/cefr/>

Aptis

受験者は「文法・語彙」セクションについては 0～50 点の数字で、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングのそれぞれのスキルについては、受けた試験の点数 (0～50 点) と CEFR のレベル (A1～C) を表したスコアで評価されます。Aptis の結果は CEFR スケール (A1 から C2 の 6 段階) と点数で示されます。

(例：B2-80 点 (IELTS 5.5～6.0 相当))

Reading – 30 min

Listening – 50 min

Writing – 50 min

Speaking – 12 min

Grammar & vocabulary – 25 min

Международный симпозиум (2019.2.7; 14:30 – 17:30)

Русский язык как язык международного

общения: формирование единой международной системы оценки уровня владения иностранным языком: состояние на сегодняшний день и задачи.

Важность лингвокультурной медиации в изучении ИЯ
17:00-17:30 Хаясида Масаси

Профессор Отдела социальных инноваций Центра совместного проектирования (CO-design center) Осацкого университета, ответственный за стратегии межязыковой коммуникации

Член организационного комитета Отдела разработки стратегий медицины будущего «Международный медицинский центр» больницы Осацкого университета.

член Лиссабонской академии наук, гуманитарное отделение (лексикография, лексикология);

член Лиссабонской академии наук, гуманитарное отделение (лексикография, лексикология);

член Лиссабонской академии наук, гуманитарное отделение (лексикография, лексикология);

член Лиссабонской академии наук, гуманитарное отделение (лексикография, лексикология);

член Лиссабонской академии наук, гуманитарное отделение (лексикография, лексикология);

член Лиссабонской академии наук, гуманитарное отделение (лексикография, лексикология);

Содержание:

- **Воспитание переводческих кадров в сфере медицинского перевода.**
- **Необходимость интерактивной компетенции (interactive competence) в обучении ИЯ в условиях глобализации.**

Стандартизация устного перевода в области медицины и здравоохранения ИСО.

- В 2019 году планируется выпуск стандарта по устному переводу в области медицины и здравоохранения ИСО. Стандарт «Общественные переводы» от декабря 2012 года не подпадал под понятие «промышленные» Японских промышленных стандартов JIS, поэтому японская версия не была выпущена.
- В названии стандарта «Медицинский перевод» на данный момент добавлено слово «здравоохранение» и убирается слово «медицина». Первоначально предложенное название стандарта «Общественные услуги» было конкретизировано. В таком случае выражение «Здравоохранение» Health Care означает Global Public Health «Глобальное здравоохранение граждан». Иными словами, смысловой перевод названия стандарта – «Охрана здоровья (и санитарных условий) граждан (общества) планеты Земля».

Medical Linguistics Innovation

Языковая медицинская инициатива

- Так называемое языковое образование (изучение языка) исторически определяется как синхронизация с изучаемым языком и его культурой и соответствующая интеграция. Такая ситуация с современным глобальным английским и глобальным китайским языками.
- После провозглашения Языковой медицинской инициативы, автор особое значение придаёт **интерактивной компетенции иностранного языка**, а именно соотносению преподавания и изучения иностранного языка с родным языком и культурой, осознанию значения родных языка и культуры и способности устного и письменного перевода на изучаемый язык в контекст изучаемой культуры.

Необходимость понимания абстрактных концептов.

- Преодоление трудностей, связанных с необходимостью интерактивной компетенции ИЯ- часть воспитания переводчиков в сфере здравоохранения, и есть некоторые конкретные требования.
- Во-первых, владение ИЯ на уровне CEFR·B2 и выше, что обуславливается необходимостью оперировать абстрактными понятиями. Способность понимания на ИЯ скрытой (невидимой) информации, такой как нюансы обстоятельств пациента, его семьи или деликатные нюансы лечения – это следующий за B1, который предполагает оперирование очевидной (видимой) информацией, уровень владения ИЯ

Посредник между родным языком и ИЯ(1)

- Подразумевается, что учащиеся свободно оперируют абстрактными понятиями родного языка и культуры.
- С другой стороны, стремительное распространение культуры текстовых сообщений привело к тому, что способность японцев внимательно слушать и понимать родной язык сильно упала. Опасная ситуация.
- Это не касается высокомотивированных учащихся, ставящих для себя целью стать мед переводчиками, но при подготовке переводчика начинать надо с оттачивания способности аудирования на родном языке. И уже услышанную и понятую информацию он переводит на ИЯ, в контекст культуры ИЯ, становится посредником. Это первое требование.

Посредник между родным языком и ИЯ(2)

- Если говорить конкретно, то переводчик должен обладать сбалансированными навыками перевода как с ИЯ на японский, так и наоборот.
- Чтобы выполнить эту роль посредника, моста, помимо усилий от учащегося требуется способность понимать контекст в условиях обеих лингвокультур,
- интуиция, языковое чутьё.
- Основания проведения Тестирования на соответствие:
- **2-е Тестирование на соответствие SDGs будет проводиться 16 февраля 2019г. :**

<http://www.cscd.osaka-u.ac.jp/co/2018/000521.php>

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2019/02/8032>

http://kansai-sdgs-plaffom.jp/cat_event/914/

Содержание :

- **Воспитание переводческих кадров в сфере медицинского перевода.**
- **Необходимость интерактивной компетенции (interactive competence) в обучении ИЯ в условиях глобализации.**

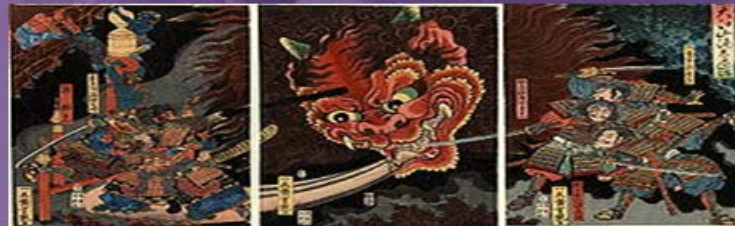
Требования к переводу в сфере здравоохранения (1)

- До этого мы говорили о переводчике как о третьей, поддерживающей стороне, однако стандартный принцип дословного перевода, «ни добавить, ни убавить» не применим в случае медперевода. В данном случае переводчик должен принять во внимание чувства иностранного пациента, понять нюансы объяснений японского врача и «**перефразировать**» информацию с учетом культуры пациента.
- **См.:** Принцип изучения ИЯ «спиной к Азии лицом к Европе» (английский джентльмен, леди как образец добродетели и т.д.)

Требования к переводу в сфере здравоохранения (2)

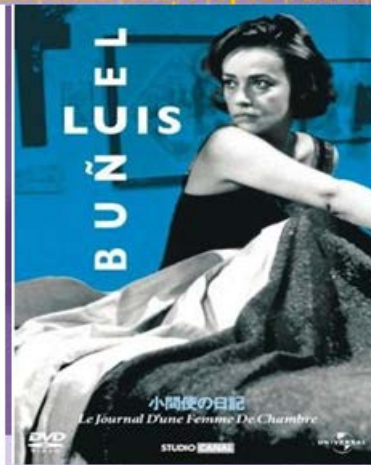
- Чтобы понять, что такое “перефразировать», обратимся к понятию из фольклористики «перенос» (transfer)
- Например, в мировом фольклоре есть универсальные мотифы, такие как «маленький герой побеждает большого злодея»
- В «Занимательных рассказах» Отоги-дзоси (17-18 вв) есть сказки о Иссумбоси Момотаро, Урасима Таро, Моногусатаро (лодырь), Сюгендоси.
- Простой народ находил утешение в этих сказках в период притеснений во время гражданской войны годов Онин.
- Быстро бегающий заяц в Африке, одноногий мальчик-негр Саси Перере в Бразилии, мудрая Селестина на Пиренейском полуострове – все они обладают способностью ломать существующие принципы.
- А кто (хитрый) трикстер в русскоязычной культуре?

Наверху: Кано Мотонобу «Сюгендоси»(часть 2-го свитка), 1522, музей Сантори.
Внизу: Утагава Ёсицугу «Как Минамото Ёримичу со своими воинами демона Сюген-доси с горы Оэяма победил»(первый Эзо)



Слева: Бразилия. Саси Перере.

Справа: Пиренейский полуостров Celestina



Содержание:

- Воспитание переводческих кадров в сфере медицинского перевода.
- Необходимость интерактивной компетенции (interactive competence) в обучении ИЯ в условиях глобализации.
- **Приложения: Преподавание ИЯ. Общий обзор**

Сводная таблица. Изучение ИЯ. Количество часов.

	Кол-во аудиторных часов	Кол-во часов обучения (стандарты университета)	Кол-во часов, необходимых для получения аттестации	Языковая стажировка +4, 800 часов (16-ти часовое погружение в языковую среду X 300дней)
Япония, ф-т ИЯ (4года): Изучение ≈ 2h По факту: 1 z-e=1.5h	900 675(7.5 x 4y x 1 Sраз)	1, 800 1, 350(в : 2 раза больше, чем аудиторных)	2, 700 2, 025	7, 500 6, 825
Россия и постсоветское пространство. Восточный факультет, японведение (5лет)	2,250 (20x X 5y X 15раз)	4, 500 (в : 2 раза больше, чем аудиторных)	6, 750 (согласно стандарту изучения ИЯ)	Без стажировки
Европейские языки CEFR (продвинутый уровень) ALTE – the Association of Language Teachers in Europe (27 языков всего)	900	1, 800	2, 700	7, 500 CEFR: Система Европейской Ассоциации Преподавателей ИЯ (Общоевропейские компетенции владения ИЯ)
Интеграционный тест для мигрантов в Германии. Язык. CEFR Средний уровень	600	1, 200	1, 800	6, 600 (предполагаемая стажировка) IATE: https://iate.europa.eu/home (European Union Terminology : перевод на 26 европейских языков)
Английский. Начальная школа → до поступления в ВУЗ.	736. 4	1472. 8	2, 209. 2	7, 009. 2
Среднее образование (английский)	628. 4	1, 256. 8	1, 885. 2	6, 685. 2
Япония. Университет. Английская филология (4года)	900 675	1, 800 1, 350	2, 700 2, 025	9, 385. 2(+6, 685. 2) 8, 710. 2(+6, 685. 2)

Ко-во часов изучения ИЯ превышающее 2,000 часов.

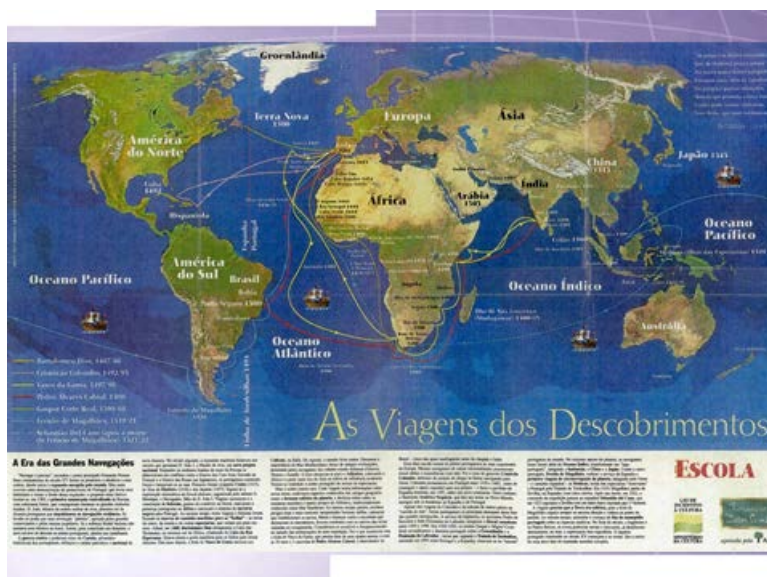
- До сих пор считалось, что **интерактивная двуязычная компетенция** доступна только билингу. Однако, учащийся, владеющий языком на уровне B2, который соответствует среднему продвинутому уровню 6-ти ступенчатой системы CEFR, и выше переходит на интерактивный дедуктивный уровень и при должном обучении с учетом чувства контекста **Contextual Sensitivity** может достичь интерактивной компетенции. В японских вузах ко-во часов изучения ИЯ, включая подготовку и повторение превышает 2000 часов (4 года), и действительно около 5% учащихся
- достигают **языковой интерактивной компетенции.**

Карта глобализации. Проекция Меркатора. (Global Portuguese, Japanese & others) ≙ Карта передвижений в эпоху Великих географических открытий.

(Global Portuguese)

Институт образования жителей Бразилии еврейского и итальянского происхождения. Методическое пособие.

Nova Escola (№118, приложение, 1998г.)



Спасибо за внимание

Convite

A ACLUS - Associação de Cultura Lusófona (Faculdade de Letras da Universidade de Lisboa) convida-o para a inauguração da:

Exposição
"Homem, Cosmos e Mitos"
de Rouslan Botiev

na biblioteca da Faculdade.
Dia 10 de Março às 17h 30m

Amazónia / Amazonias
Conferência Temática, org. ACLUS
Sede: Faculdade de Letras - Cidade Universitária - Lisboa
E-mail: aclus@ul.pt Apartado 52118 - Lisboa